学校番号	3002

令和８年度　農業科（資源動物科）

教科	農業	科目	資源動物	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	農業 704　食品製造（実教出版）・農業 721　飼育と環境（海文堂出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「資源動物」では生物生産を幅広く扱い、飼料分野と畜産物利用(畜産加工食品)について基礎的知識を習得していきます。飼料分野では、飼料を取り巻く環境をはじめ、生産現場で用いられている飼料の種類や分類、栄養素や飼料設計などについて学習し、実際の飼養管理に活用できるようになることを最終的な目標とします。畜産物利用分野では、食品の衛生管理に理解を深め、品質の向上・改善を考えることや､身近な畜産物やその加工食品の性質や製造方法、その原理を学びます。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】

家畜飼料の栄養素や特性について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。

畜産物を利用するための衛生管理や性質、製造原理について体系的に・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】

畜産飼料と飼料の関係性から、課題を発見し、適した給餌内容を考えることで農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。

畜産物を利用するための性質や製造原理、衛生管理における課題を発見することで農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付ける。

【学びに向かう力、人間性等】

家畜の飼料に関して、農業生物の飼育や管理に応用し、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

畜産物の利用に関して、農業生物の飼育や管理に応用し、畜産物の生産性や品質の向上へとつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・飼料に含まれる栄養素や飼料原料の分類、飼料の特性について総合的に理解している。 ・飼料特性を踏まえて、飼料給餌における注意点を理解し、飼養管理に必要な知識を習得している。 ・畜産物を利用するための衛生管理や性質、製造原理について体系的・系統的に理解するとともに、関連する知識・技術を理解している。	・食料生産における畜産と飼料の関係について、その課題を考えることができる。 ・栄養及び飼料の特性等の学びを活用し、育成時期に適した給餌内容について考えることができる。 ・畜産物を利用するための性質や製造原理、衛生管理における課題を発見し、農業や畜産関連産業に携わる者として合理的かつ創造的な解決方法を考えることができる。	・飼料の種類や特性や給与上の注意点について関心をもって学び、実際の飼養管理に活用する態度を身に付けている。 ・畜産物を利用するための衛生管理や性質、製造原理を用いた応用ができるように、自ら学び、効率的な衛生管理の改善、生産物の品質向上への理解に主体的に取り組む態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	家畜の飼料と管理	採食と家畜の消化器 消化と吸収 栄養価の評価とその方法 飼養標準とその使い方	a:動物の消化吸収の機能、動物体内における栄養素の代謝を理解している。 b:現在給与している飼料が家畜の栄養要求量を満たしているかを考えることができる。 c:家畜の栄養要求量について、所属している専攻の家畜の栄養要求量を満たせているかを自ら考えようとしている。	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表
	食品加工と食品衛生	食品と食品衛生 食中毒 食品による危害	a:食中毒の特徴や原因を理解し、食品から発生する事故の原因を理解し、それらを防ぐための様々な仕組みのもとで、製造されていることを理解している。 b:食中毒や食品から発生する事故をどのように防ぐことができるのか考えることができる。 c:加工食品の製造に必須となる衛生管理に興味・関心を持ち自ら学ぼうとしている。	ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表

2学期	飼料給与の実際	飼料に求められる条件 飼料の種類 飼料資源	a:飼料の特性を理解し、各飼料の特徴を踏まえて正しく飼料分類することができる知識を身に付けている。 b:飼料の要件を理解し、飼料としての役割を果たし適正かどうか判断することができる。 c:食料生産資材としての飼料の役割に興味・関心を持つ。	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表
	生産管理の改善	品質管理 作業体系	a:生産現場における品質管理の方法を理解し、安全で高品質な食品を製造するための作業体系を理解している。 b:品質管理の意義や生産現場でのより良い作業方法を考え、作業体系を考えることができる。 c:製造現場における品質管理や作業体系に興味・関心を持ち品質管理方法を自ら考えようとしている。	ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表
3学期	飼料作物の栽培と調整	飼料の形態 飼料作物の種類と生産 飼料作物の加工と貯蔵	a:飼料作物の栽培を飼料作物の種類と特徴について理解している。 b:飼料作物の利用効率を高めるための保存方法を学び、家畜や利用方法に合わせた飼料の加工を考えることができる。 c:飼料の加工や貯蔵方法に関心を持ち、主体的に学ぼうとしている。	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表

	畜産物の加工	牛乳の加工 肉類の加工	a:原材料として畜産物の性質及び畜産物の加工食品の基本的な製造過程と原理を理解し、畜産物に付加価値をつけて流通していることを理解している。 b:畜産物の性質や製造方法を踏まえ、畜産物の性質を活用した製造方法を衛生管理と倫理観にもとづいて考えることができる。 c:畜産物を原料とした加工食品の製造に関心を持ち、食品製造に関して自ら学び考えようとしている。	ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表 定期考査	授業観察 ノート 授業内課題 振り返りプリント 発表

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度